



保育園では、専門職がそれぞれの分野でのパワーを発揮して、チームとしての保育を実践しています。子どもたちの健康な育ちを支える「看護師」と「栄養士」の仕事をご紹介します。

#### 《看護師》 医療的ケア児って知っていますか

土屋 好枝

痰の吸引や経管栄養などの医療的ケアが、日常的に必要な子のことをいいます。当園でも医療的ケアを必要とするお子さんをお預かりしていますが、受け入れ当初こそ慌ただしかったですが、今は目まぐるしい成長に驚く日々です。ご家庭で愛情いっぱい育てられ、保育所ではお友だちとの触れ合いを楽しみ、先生や他の保護者さんとの関わりを楽しむ。ただそれだけのことですが、その環境が大切なんだと感じます。

子ども達に囲まれ、成長を間近で感じられる保育所看護師って幸せなお仕事です。安心して産み、育てることが出来る社会。保育施設はその一端を担っていると思うので、その一員として、保護者のみなさまと共に成長し、歩んでいきたいと思います。



#### 《栄養士》 食習慣が大切です

清水 麻未

食育とは、子どもの頃から「食」に関する様々な経験を積むことで、心身ともに健康で豊かな人間性を育ていくための活動のことです。

平成17年に制定された食育基本法では、「子どもたちが豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくには、『食』が重要である。」とあります。保育園でも、一生を通して健康でいられる身体を作るためには「何をどう食べたらよいのか」を学んでもらいたいと思います。その年ごとに色々な食育の取り組みを実施していますが、クッキングだけではなく、食具の使い方や、みんなと一緒に食べるマナーや、食べたものが体の中でどうなるかななどの指導もしています。

子どもの頃についた食習慣を、大人になってから改めるのは簡単なことではありません。生涯にわたって心身ともに健康で充実した生活を送るには、子どもの頃の食習慣がとても大切です！



社会福祉法人あらぐさ会／わかば保育園・新杉田のびのび保育園・笹下保育園

〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町 992 番地 Tel/Fax 045-443-5564

あらぐさ会ホームページ <http://www.aragusakai.sakura.ne.jp/>

2023年10月号

子どもたちに もう1人 保育士を!!の声を



今年の5月8日から、コロナ感染症が2類から5類へ変更され、それに伴って、これまでマスク着用、催し物の人数制限、行動規制、医療機関への報告などが緩和され、個人の選択、判断、自主性に任されるようになりました。けれど、小さな子どもたちの命を預かる保育所は、さあご自由に、というわけにはいきません。コロナ菌がなくなったわけではなく、人の交流が多くなる中で、コロナ感染症だけでなく、さまざまな病気が一気に増え、未だに緊張から解放される状況ではありません。保育も行事も自由でのびのびと以前の保育に近づけながら、安全を心がけることは言うまでもありません。

しかし、コロナ感染症の世界的大流行は、保育現場に新たな一面をもたらしました。それは日常の保育が、コロナによってあっという間に困難に陥ってしまう「保育条件の貧しさ」です。国の保育士配置基準は戦後すぐにつくられたものですから大変貧しい内容でした。ですから最低基準が創られた時から、「最低基準の引き上げ」は付帯事項でした。ところが50年以上変わっていないのが1・2歳児の「6人の幼児に保育士一人」、創られた時から70年以上変わっていないのが「4・5歳児30人に保育士一人」です。戦後スタートした保育制度です。その頃とは保育時間も保育条件も、保育所の役割が、今では大きく変わってきているにも関わらず。

コロナ禍は大変なことでしたが、子どもの顔が見える、声が聴こえる、ゆったりとした保育ができる…全国の多くの保育者が、もっとゆとりのある保育がしたい、もっと子どもの気持ちに寄り添える保育のために、保育士の増員の要求を！の願いから始まったのが「保育士配置基準の改善」でした。

愛知から始まった「子どもたちに もう1人保育士を」の運動は今国を変えてきています。「ここにもう1人保育士がいたら、子どもたちに“まってね”とか、“あとでね”ではなく、子どもたちの声を、思いを、願いをすぐに受けとめることができる!!

不適切保育があちこちで報道されています。あってはならないことです。しかし、全国の保育士アンケートによると、{子どもたちに良い保育をと頑張っているが、現状では自分も不適切な保育をしてしまうのではないかと不安を感じている}という保育者が多いのが現状です。

子どもたちが健康で仲間たちと楽しい毎日を送る保育環境を、保護者が子育ても仕事も当たり前に行える子育て環境と安心して預けられる保育施設を、保育者の豊かな保育実践と働き続けられる労働条件を、ぜひ実現しましょう！

社会福祉法人あらぐさ会理事長 辻村久江

